

二	事業の概要
---	-------

(1) 2015 年度事業報告

<入試・広報>

入試結果

- ・志願者数 1,998 名（前年度比 106%）
- ・入学者数 893 名（前年度比 104%）
- ・オープンキャンパス来場者数約 2,900 名（前年度比 106%）

学生募集広報

- ・高校生に対する本学の教育内容（なりたい自分発見カリキュラム）を伝えるキャッチフレーズとして「探そうなりたい自分の夢の種」を設定。
- ・オープンキャンパスにおいて「なりたい自分発見カリキュラム」体験授業を実施。
- ・放送業界の著名人から学ぶプロデュース論では学生のアイデアを元に大学 CM を作成し、テレビにて放映するなど、本学の強みであるマーケティングを強化した学生募集活動を実施。

<個々の学生に対するアドバイザー機能の強化>

1 年生に対する施策

- ・低単位取得者に対して夏季休暇を利用した 5 日間の補修を実施。
- ・目指すべき職業別の学生生活モデル 10 業種について作成。
- ・1 年生クラブ加入率 41.0%

全学年に対する施策

- ・授業時間以外で教員と学生が気軽に話せる場としてのアカデミックサロンを 3 箇所開設、利用を促進した。また、後期より学生及び教員の意見を取り入れ、利用日程・時間の拡大を図った【前期】平日（月～金）9：00～18：00 →【後期】全日（土日祝含む）9：00～20：00。
- ・学生に学修の機会を提供する為、次年度時間割編成を検討する中で履修者が多くなりそうな科目（29 科目）については、私語対策、学習効果の観点より複数開講を実施。
- ・クラブ加入率 43.9%。

<初年次教育⇒オンリーワンの教育プログラム>

初年次教育プログラム ～なりたい自分を発見～（1 年生対象）

- ・入学式（4/1）で 1 年生全員が 1 人ずつ将来の目標を発表、また、クラスごとの懇親会を実施。
- ・コミュニケーションキャンプ（宿泊研修）を実施。13 人ずつのグループ単位で、10 個のアスレチックワーク、グループワークに挑戦し、主にクラスでの友人づくり、コミュニケーション力の向上を図った。
- ・サマープログラムとして異文化理解（香港）の実施（15 名受講）、チャレンジインターンシップを実施（45 名参加）。
- ・前期終了時点で将来の目標が見つかった学生の割合 72.2%（入学時 46.9%）

オンリーワン教育プログラム

【マーケティングプログラム】

- ・試験的に夏季休業中、テストプログラムを実施。参加人数：3 年生 29 名。
- ・企画テーマに基づき、マーケティング分野の専門知識を修得し、企画を作成する中でマーケティン

グ力を身につけた。商品企画やブランド戦略のプロの方より学び、プレゼン力アップにもつなげた。

【地域人材育成プログラム】

- ・神戸 2020 ビジョン・神戸創生戦略プロジェクトチームの企画と連携して、地域活性化プログラムの提案等を実施することを決定。

<社会における規律性の向上>

- ・禁煙指導について新入生学生生活ガイダンス、フレッシュマン研修、リーダー研修時に禁煙の保健指導等を実施。
- ・学生自身が挨拶運動（4月実施。100名程度参加）やクリーンキャンペーン（定期実施（毎週木曜日）各回80～100名程度参加）に参画し、規律性向上につなげた。

<教育につながるプロジェクト的教育・研究活動推進>

- ・プロジェクト教育・研究である「教育実践推進費」を新設し、「マーケティング人材育成プログラムの開発」、「学生の自主学習支援施設としてのラーニングコモンズの設立と図書館・メディアセンターを中心とした既存施設の連携強化及び活性化」、「スポーツメディアの実態を探る～スポーツ新聞の作成を通じた体験学習～」の3件が採択、実行された。

<第一志望企業群への就職割合向上>

就職結果

- ・就職率 98.4%（前年度 98.3%）
- ・就職者数／卒業生数 81.4%（前年度 81.3%）
- ・学校推薦制度の推薦学生数 102名、内定者数 74名（前年度推薦学生数 102名、内定者数 49名）

主な就職支援内容

- ・3年生を対象の就職ガイダンスを9回実施（参加者数 2,337名）。
- ・学内企業説明会を実施（参加企業数 294社、参加者数 2663名）。
- ・個人面談練習を実施（参加者数 357件）。
- ・業界研究セミナーを9日間実施（参加企業数 52社、参加者数 679名）。
- ・卒業生による就職相談会を実施（参加者数 34名）。
- ・留学生就職ガイダンスを2回実施（参加者数 23名）。
- ・資格講座を開講（48講座、受講者数 756名）。

<教育面を中心とする教員評価制度確立>

- ・学生を徹底的に教育し、実社会で活躍できるビジネスパーソンを輩出するためにも、授業だけでなく、マナーや友人関係の築き方を含め学生生活全般における指導・支援を重視するための評価比率を10月理事会にて決定。2016年度、詳細の評価制度を確立させる。

<財務構造の維持・良質化>

- ・3大経費の予算統制等により、無借金体制及びキャッシュイン体制を継続
- ・各種会議体及びミーティングのペーパーレス化推進

※本年度実績

コピー代：前年度比 68.9%

プリンタ：前年度比 84.9%